

第1回例会報告（2018年6月発信）

若葉のさわやかな頃、皆様方にはお健やかに過ごしのこととお喜び申し上げます。



柿本広島支部長あいさつ

さて、本年度も活動が始まりました。広島支部では、第1回例会を5月27日（日）（比治山大学附属幼稚園ホール）に行いました。

講師は、馬杉知佐先生（比治山大学短期大学部講師）。





「今回の研修会では、音・物・体の三つ要素が盛り沢山で、見たり、聞いたりと十分に五感を働かせながら、リトミックを楽しむことができました。」

「前半は、リトミックの三要素である、時間・空間・エネルギーを意識して体を動かすことを重点的に行いました。自分の前に、9このポイントがあること想定したエクササイズでは、意識してしっかり体を伸ばすことができました。ポイントがあることで、どのようにエネルギーを持って行けば良いか分かりやすく、4カウント・2カウント・1カウントで体を動かしたことで、体の動かし方やエネルギーの違いを十分感じながら行うことができました。同じ空間を使っても、時間によってエネルギーが変わってくることを身をもって体験しました。」



「後半は、音と動きの表現を重点的に行いました。二人組になり、音に合わせて動くこと、動きに合わせて音をつけることを行いました。音と動きには関連性があるということを改めて感じました。」



「新聞紙を使った活動では、新聞紙によって奏でられた音から感じ取った動きを表現しました。繰り返し行っていくと、いつの間にか

1つの音から感じ取ったことを直感的に表現しており、リトミットとは、難しく考えて動くものではなく、即興的に感じ取ったまま動くものであるということを改めて感じることができました。また、新聞紙だけでも、様々な音を奏でることができ、合奏をすることもできました。身近で手軽に用意することができる新聞紙が、楽器になり、リトミックをするための教具にもなりました。

今回、馬杉先生の研修会では、保育や教育の現場で実践できるアイデアをたくさん教わることができました。特別な教具が必要なわけではなく、高度な演奏技術が必要なわけでもなく、リトミックがより身近なものになったように感じました。早速、実践していきたいと思います。」

次回は、第63回夏期講習会です。7月30日（月）アステールプラザ多目的スタジオで行います。多数のお越しをお待ちしております。（本ホームページで詳細なご案内を掲載しております。）